

滋賀県 景況調査結果報告書

令和4年度 第2四半期
(令和4年7～9月)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和4年7～9月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	339	53	6	4	402
(割合)	84.3%	13.2%	1.5%	1.0%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和4年8月25日～9月9日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数:402社(回答率53.6%)

※大企業29社、中小企業373社(うち小規模事業者126社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	16	2	0	5	6	29
中小企業・ 小規模事業者	156	68	28	23	98	373
合計	172	70	28	28	104	402
(業種別比率)	42.8%	17.4%	7.0%	7.0%	25.9%	100.0%

(端数の四捨五入により、各項目の合計は100%と
ならない)

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	14	10	6	4	20	54
南部地域	37	12	3	4	21	77
甲賀地域	26	10	4	4	11	55
東近江地域	33	9	7	5	11	65
湖東地域	22	10	3	5	16	56
湖北地域	22	10	3	2	12	49
高島地域	18	9	2	4	13	46
合計	172	70	28	28	104	402

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲13.0と、前期と比べて5.6ポイント悪化した。
来期は▲10.0と、マイナス幅が縮小する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では▲6.9とマイナスに転じ、中小企業(小規模事業者を含む)では▲13.5とマイナス幅が拡大した。
来期は、大企業が▲10.3とマイナス幅が拡大し、中小企業は▲10.0とマイナス幅が縮小する見通しである。
- **【業種別】** すべての業種で、前期と比べて悪化した。サービス業はプラス幅が縮小し、その他の業種はマイナス幅が拡大した。
来期は、サービス業はプラス幅が拡大し、製造業はマイナス幅が縮小する一方、建設業と卸売業はマイナス幅が拡大し、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和4年7月~9月、来期:令和4年10月~12月

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

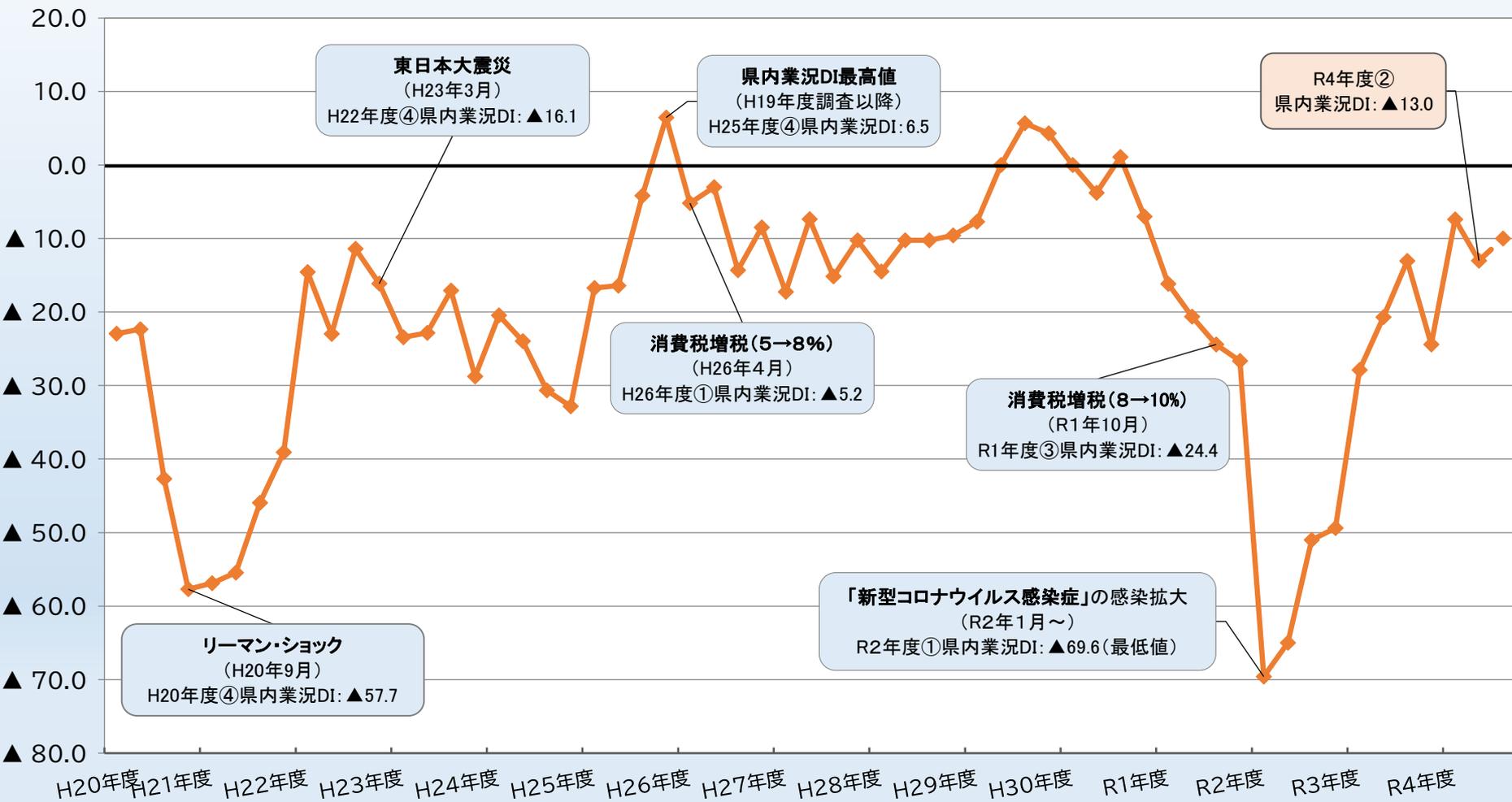
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業況DIの推移

(平成20年度 第1四半期～令和4年度 第2四半期)



1. 調査概要

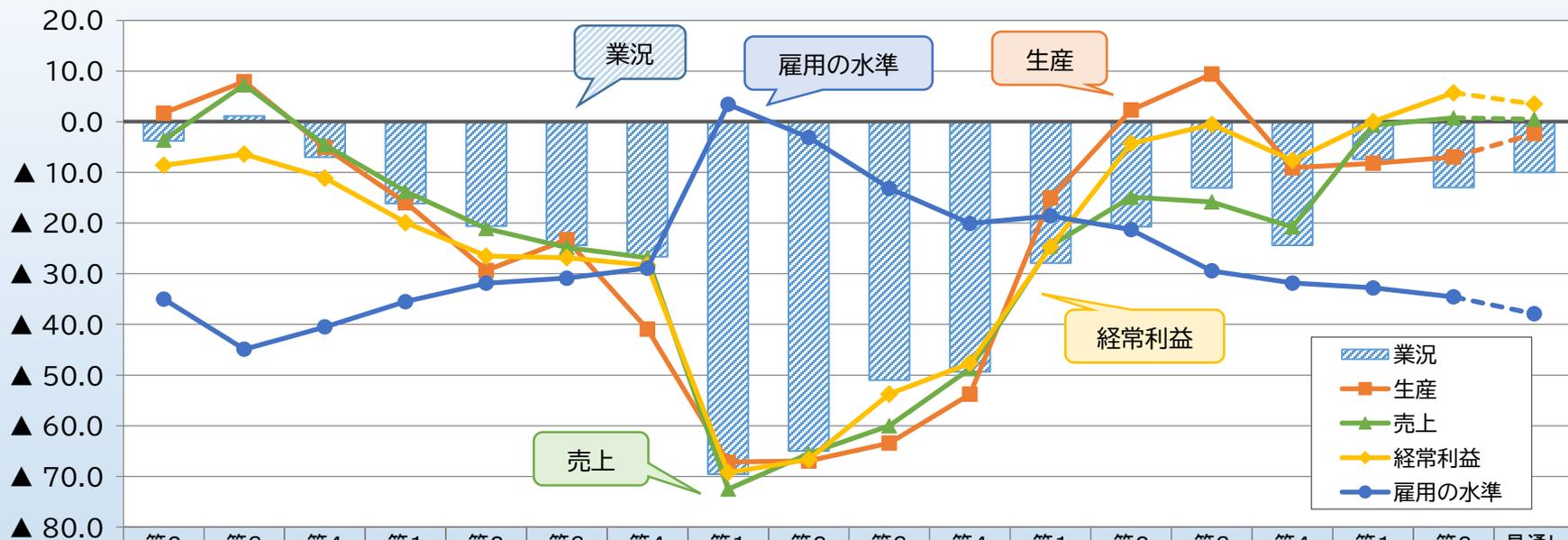
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

各種DIの推移 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 10.0
生産	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 2.3
売上	▲ 3.6	7.3	▲ 4.6	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	0.5
経常利益	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 11.1	▲ 19.9	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5
雇用の水準	▲ 35.0	▲ 44.9	▲ 40.5	▲ 35.5	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 37.9

【今期(令和4年7～9月期)の景況】※前年同時期との比較

業況DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、売上DIはプラスに転じ、経常利益DIはプラス幅が拡大した。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和4年10～12月期)の見通し】

業況・生産の各DIはマイナス幅が縮小し、売上・経常利益の各DIはプラス幅が縮小する見通し。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

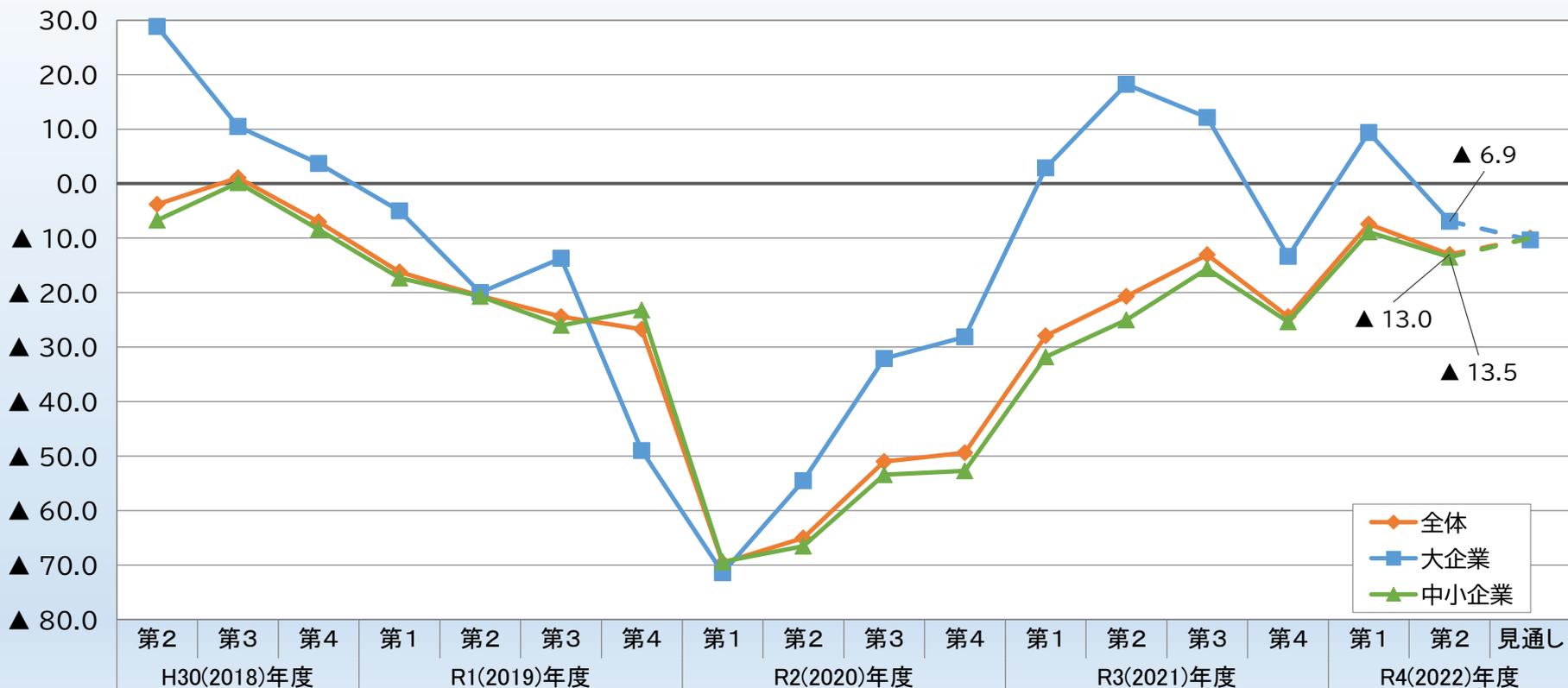
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業規模別】業況DIの推移 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【大企業】

今期:▲6.9とマイナスに転じた。

来期:▲10.3とマイナス幅が拡大する見通し。

【中小企業】

今期:▲13.5とマイナス幅が拡大した。

来期:▲10.0とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要

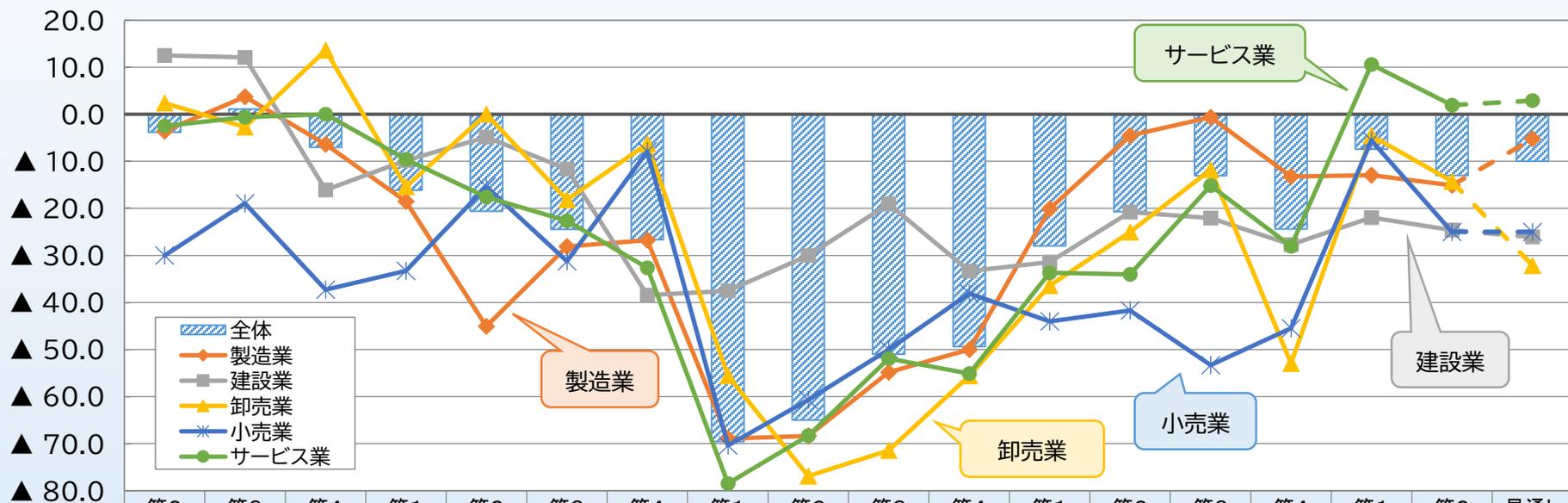
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業業種別】業況DIの推移 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

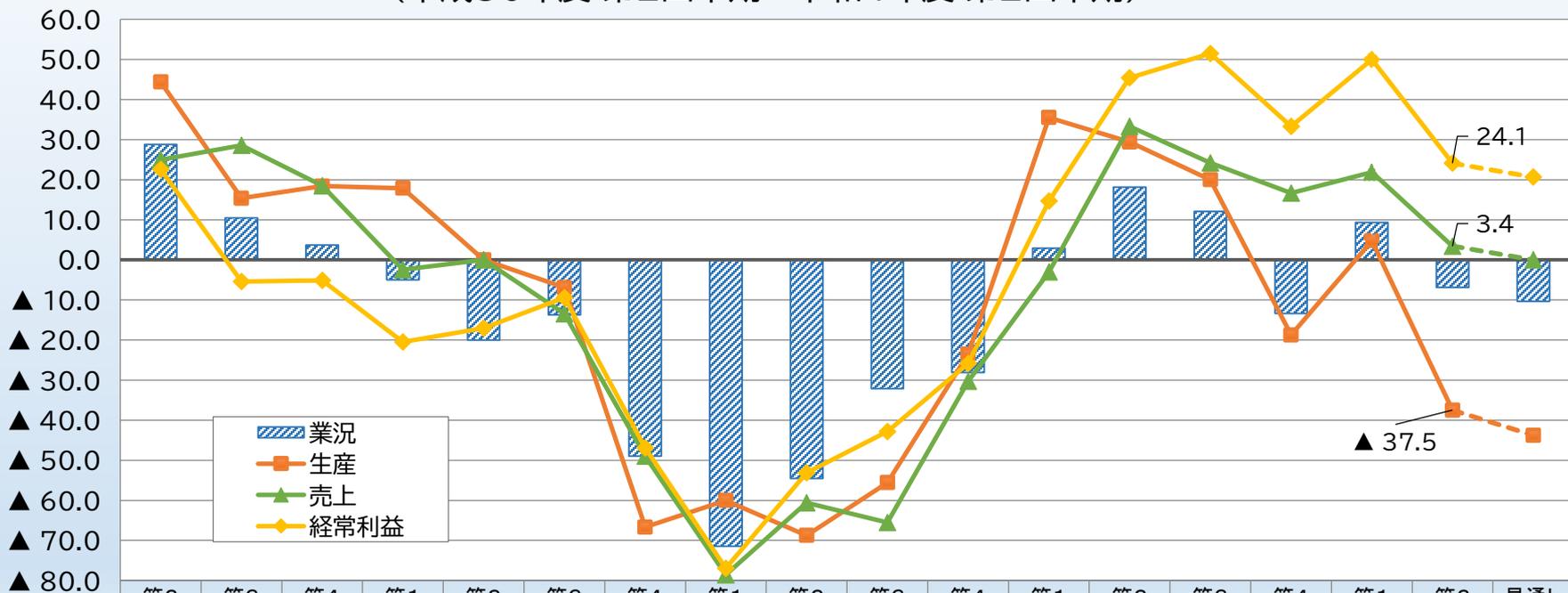


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
全体	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 10.0
製造業	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.5	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 5.2
建設業	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 26.1
卸売業	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 32.1
小売業	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.0
サービス業	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	2.9

【製造業】	今期: ▲15.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲5.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲24.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲14.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲32.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【サービス業】	今期: +1.9とプラス幅が縮小した。	来期: +2.9とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

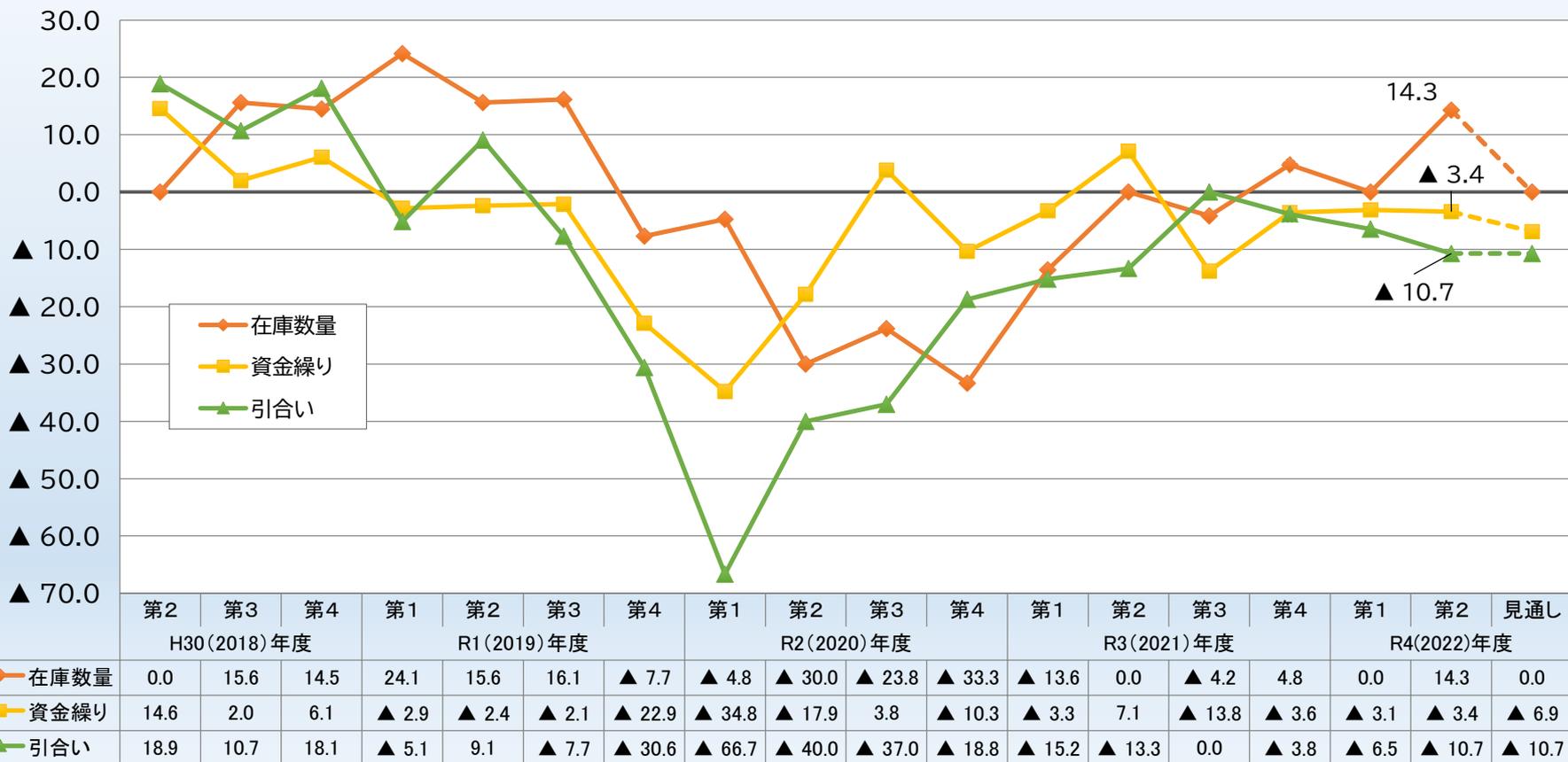


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	28.8	10.5	3.7	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 10.3
生産	44.4	15.4	18.4	17.9	0.0	▲ 6.9	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 43.8
売上	25.0	28.6	18.5	▲ 2.4	0.0	▲ 13.5	▲ 49.0	▲ 78.6	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	0.0
経常利益	22.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 20.5	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 46.9	▲ 76.9	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	20.7

【業況】	今期: ▲6.9とマイナスに転じた。	来期: ▲10.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲37.5とマイナスに転じた。	来期: ▲43.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +3.4とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +24.1とプラス幅が縮小した。	来期: +20.7とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

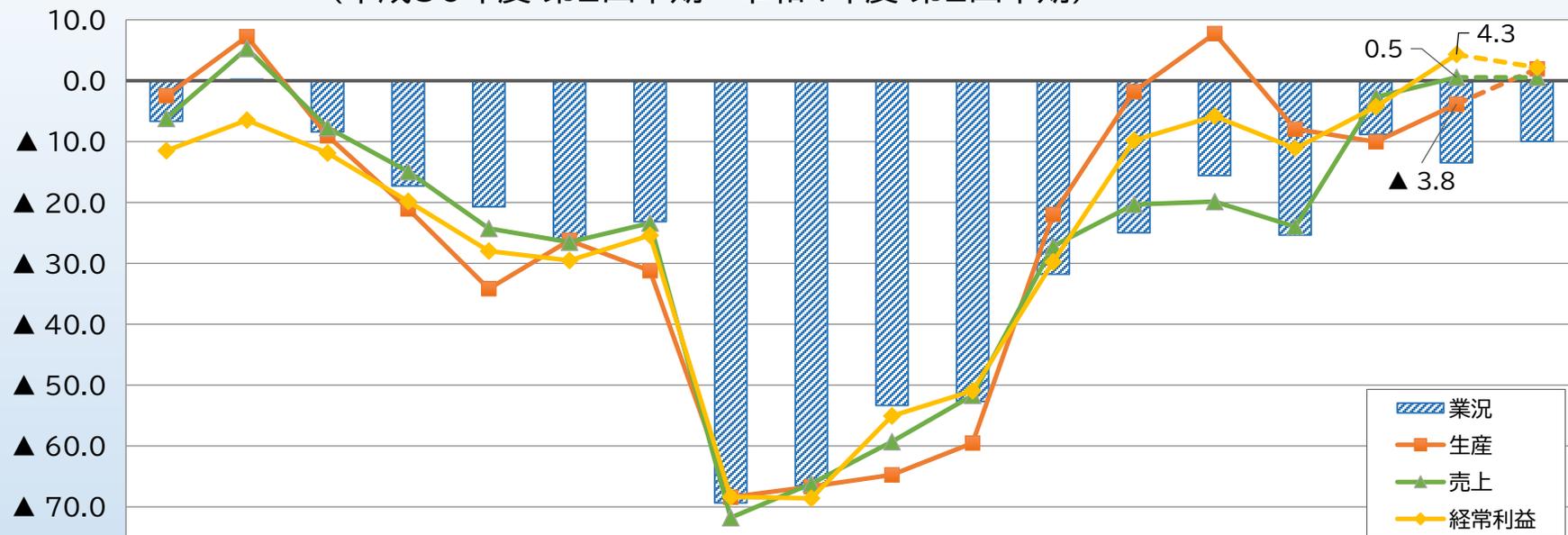
【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期: +14.3とプラス幅が拡大した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲3.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲6.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲10.7とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.7と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

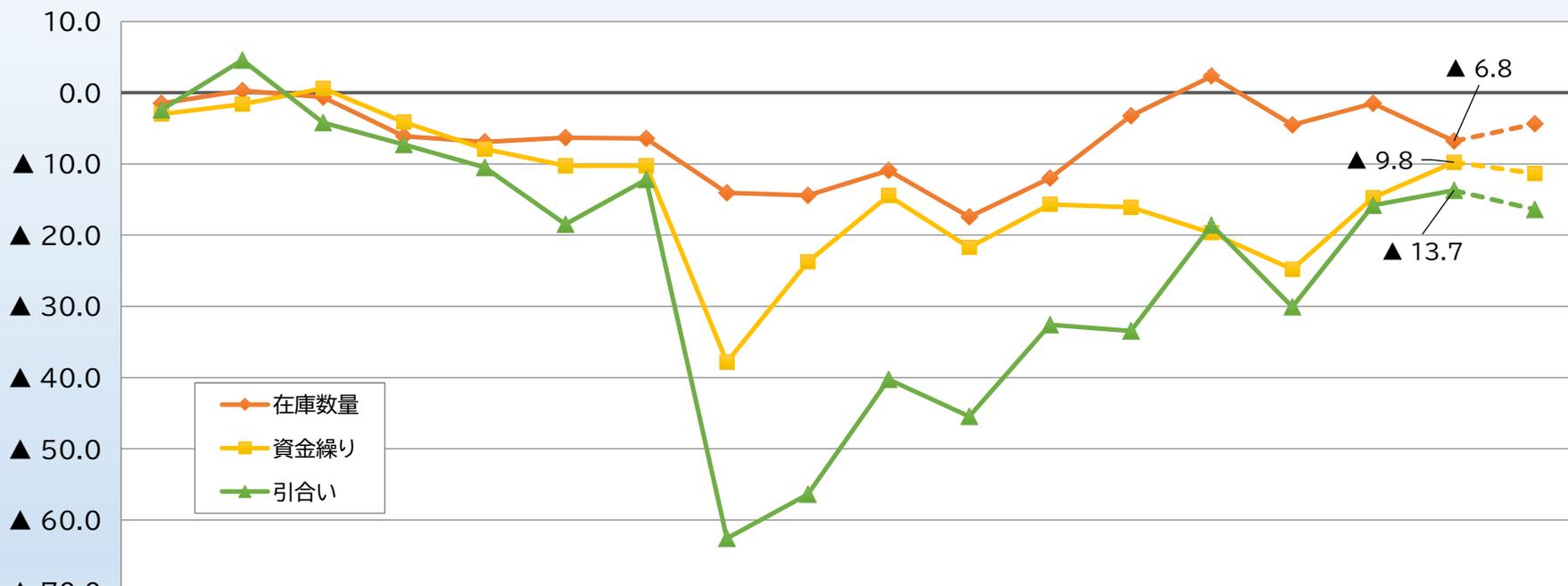


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 6.7	0.2	▲ 8.4	▲ 17.3	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 25.4	▲ 8.8	▲ 13.5	▲ 10.0
生産	▲ 2.5	7.2	▲ 9.1	▲ 21.1	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 68.4	▲ 66.7	▲ 64.8	▲ 59.6	▲ 22.0	▲ 1.8	7.8	▲ 8.0	▲ 10.1	▲ 3.8	1.9
売上	▲ 6.2	5.3	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 24.3	▲ 26.5	▲ 23.4	▲ 71.8	▲ 66.2	▲ 59.3	▲ 51.7	▲ 27.2	▲ 20.3	▲ 19.9	▲ 24.0	▲ 2.7	0.5	0.5
経常利益	▲ 11.5	▲ 6.5	▲ 11.9	▲ 19.8	▲ 28.0	▲ 29.5	▲ 25.4	▲ 68.4	▲ 68.6	▲ 55.1	▲ 51.0	▲ 29.8	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 11.1	▲ 4.3	4.3	2.2

【業況】	今期: ▲13.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲3.8とマイナス幅が縮小した。	来期: +1.9とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期: +0.5とプラスに転じた。	来期: +0.5と同水準の見通し。
【経常利益】	今期: +4.3とプラスに転じた。	来期: +2.2とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

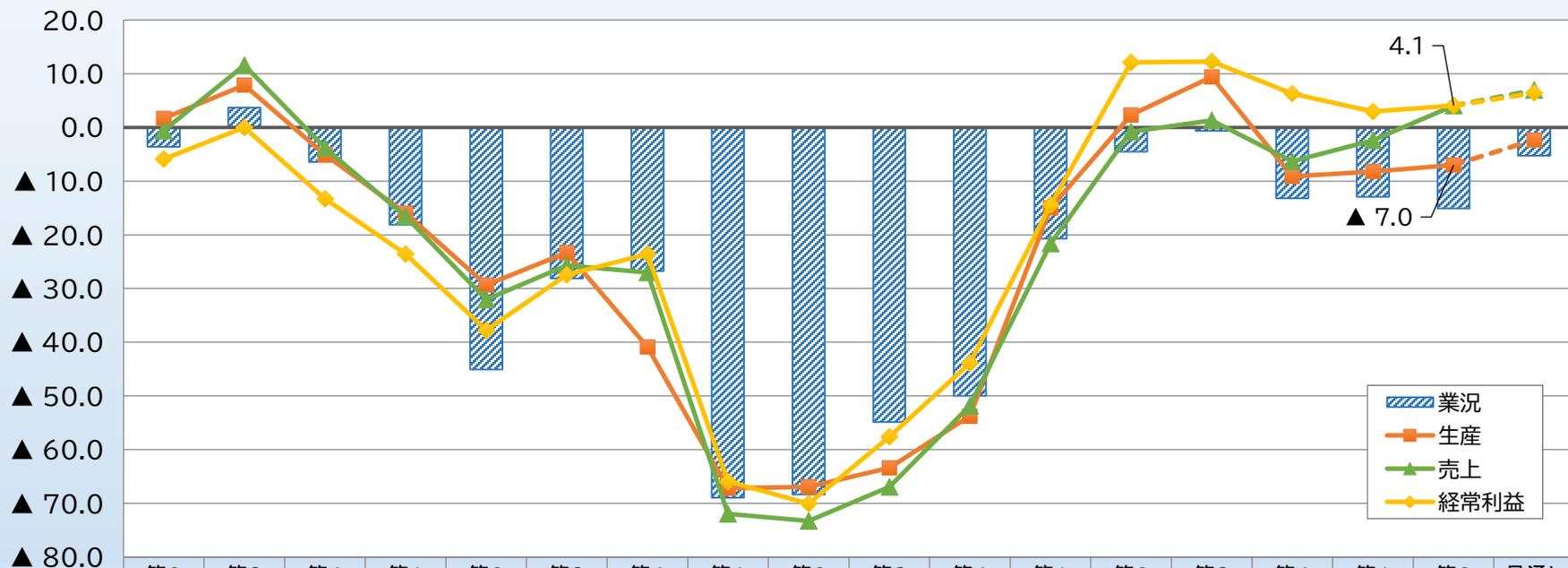


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	▲1.5	0.3	▲0.6	▲6.1	▲6.9	▲6.3	▲6.4	▲14.1	▲14.4	▲10.9	▲17.4	▲12.0	▲3.2	2.3	▲4.5	▲1.5	▲6.8	▲4.4
資金繰り	▲3.0	▲1.6	0.6	▲4.1	▲7.9	▲10.3	▲10.2	▲37.8	▲23.8	▲14.5	▲21.7	▲15.7	▲16.1	▲19.7	▲24.8	▲14.7	▲9.8	▲11.4
引合い	▲2.4	4.6	▲4.2	▲7.3	▲10.5	▲18.5	▲12.2	▲62.6	▲56.4	▲40.3	▲45.5	▲32.6	▲33.5	▲18.6	▲30.1	▲15.8	▲13.7	▲16.4

【在庫数量】	今期: ▲6.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲4.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲9.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲11.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲13.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.4とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

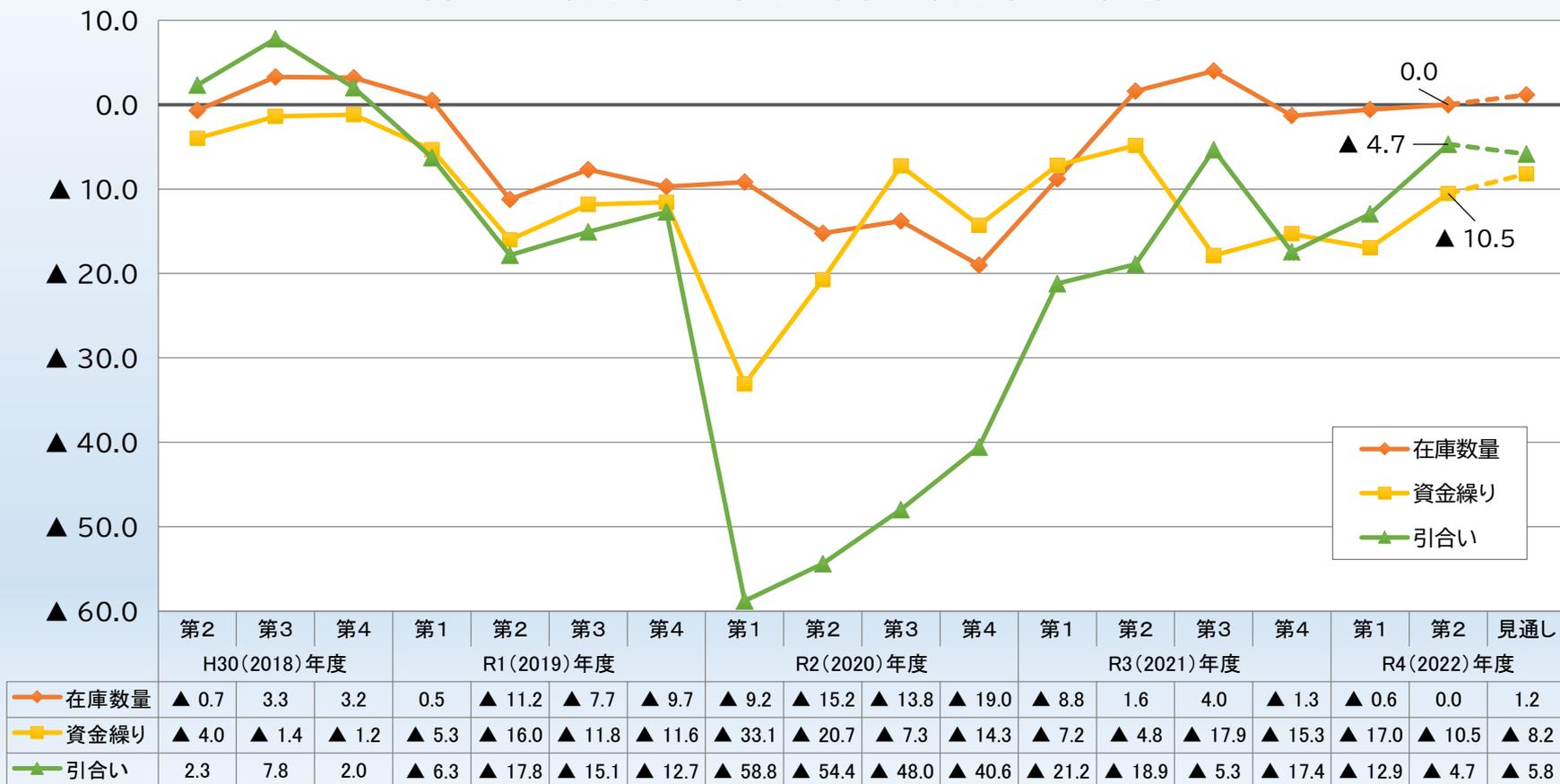


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 5.2
生産	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 2.3
売上	▲ 0.6	11.6	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	7.0
経常利益	▲ 5.9	0.0	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	6.4

【業況】	今期: ▲15.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲5.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲7.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲2.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +4.1とプラスに転じた。	来期: +7.0とプラス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +4.1とプラス幅が拡大した。	来期: +6.4とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

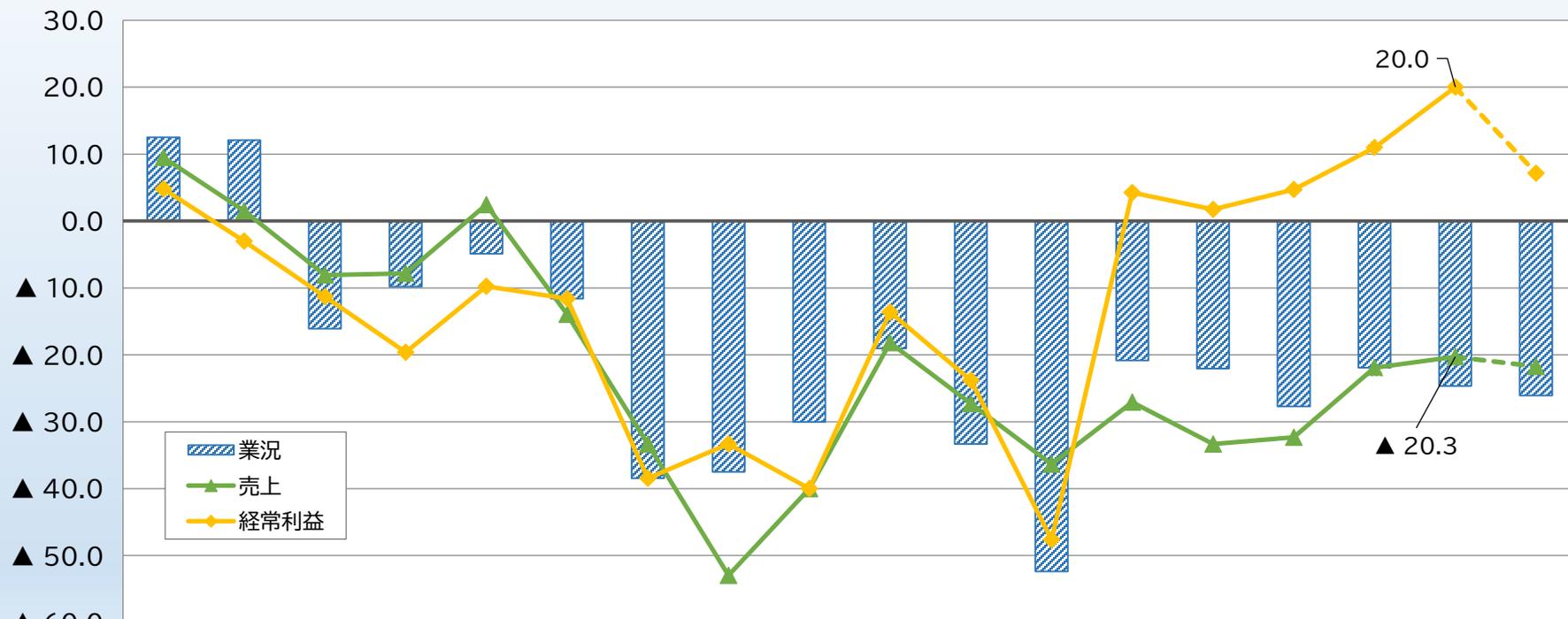
【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期:0.0とマイナス幅が縮小した。	来期:+1.2とプラス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期:▲10.5とマイナス幅が縮小した。	来期:▲8.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期:▲4.7とマイナス幅が縮小した。	来期:▲5.8とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

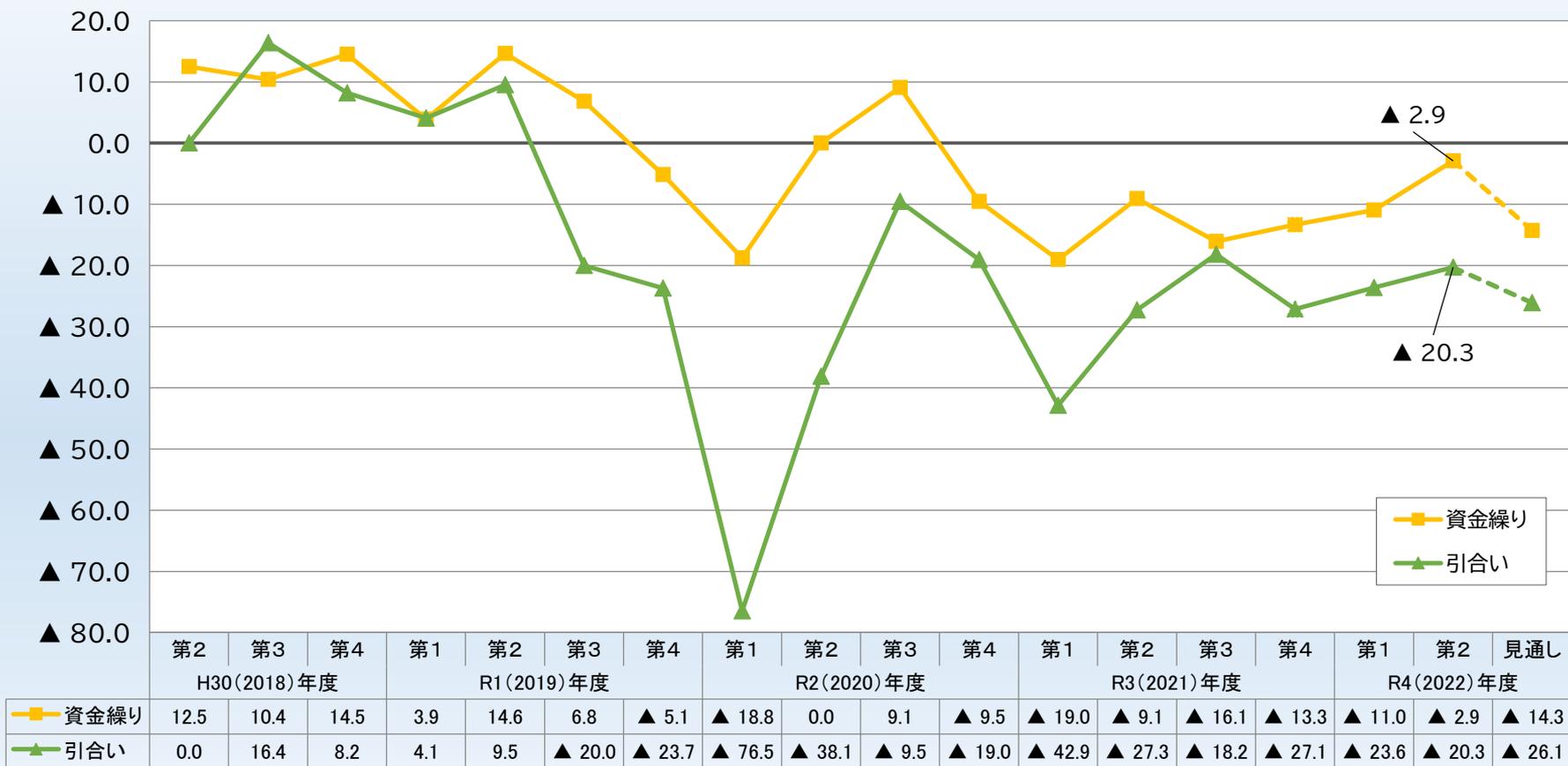


	H30(2018)年度			R1(2019)年度			R2(2020)年度			R3(2021)年度			R4(2022)年度					
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 26.1
売上	9.5	1.5	▲ 8.1	▲ 7.8	2.4	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 21.7
経常利益	4.8	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 19.6	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	7.1

【業況】	今期: ▲24.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲20.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲21.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +20.0とプラス幅が拡大した。	来期: +7.1とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

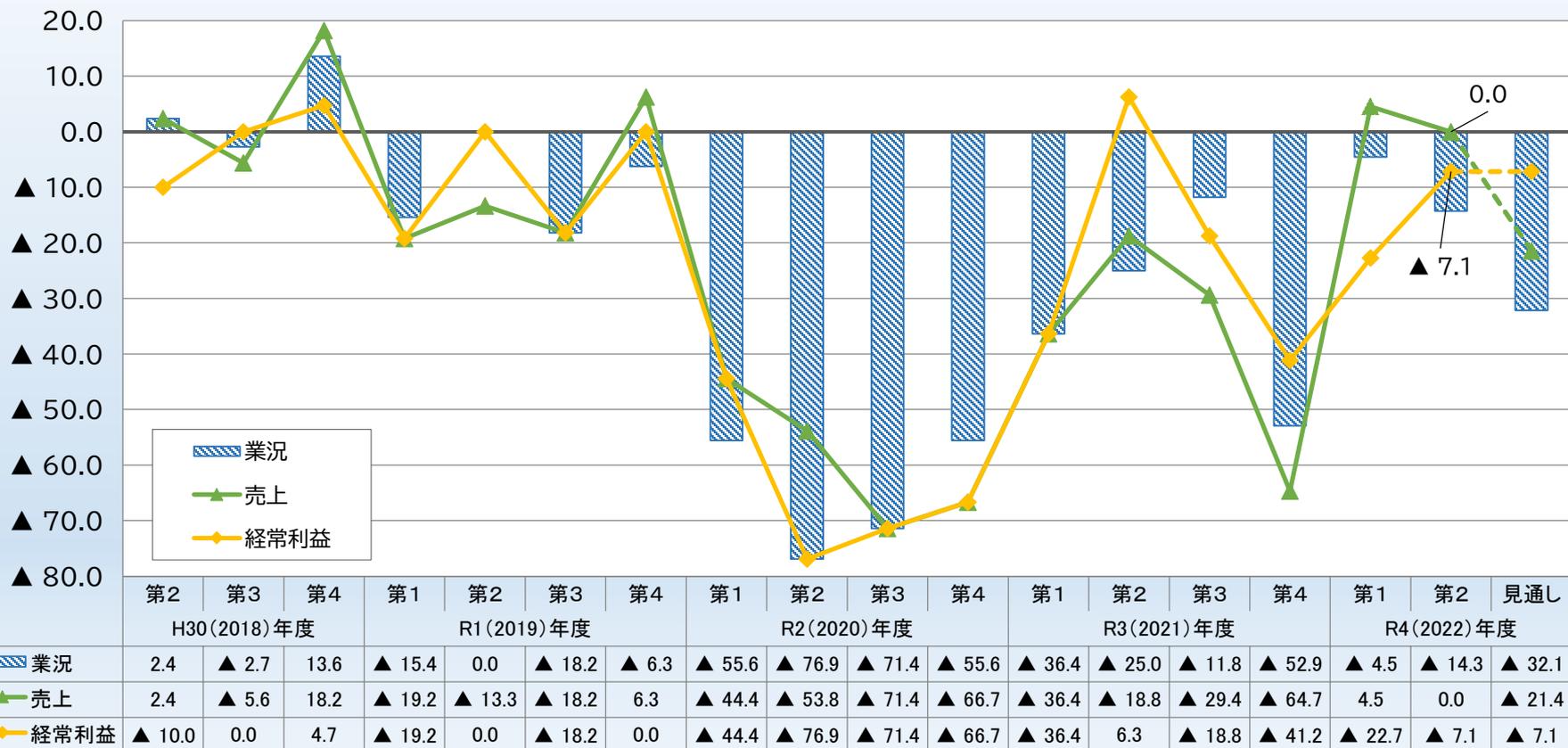
【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度第2四半期～令和4年度第2四半期)



【資金繰り】	今期: ▲2.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲20.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

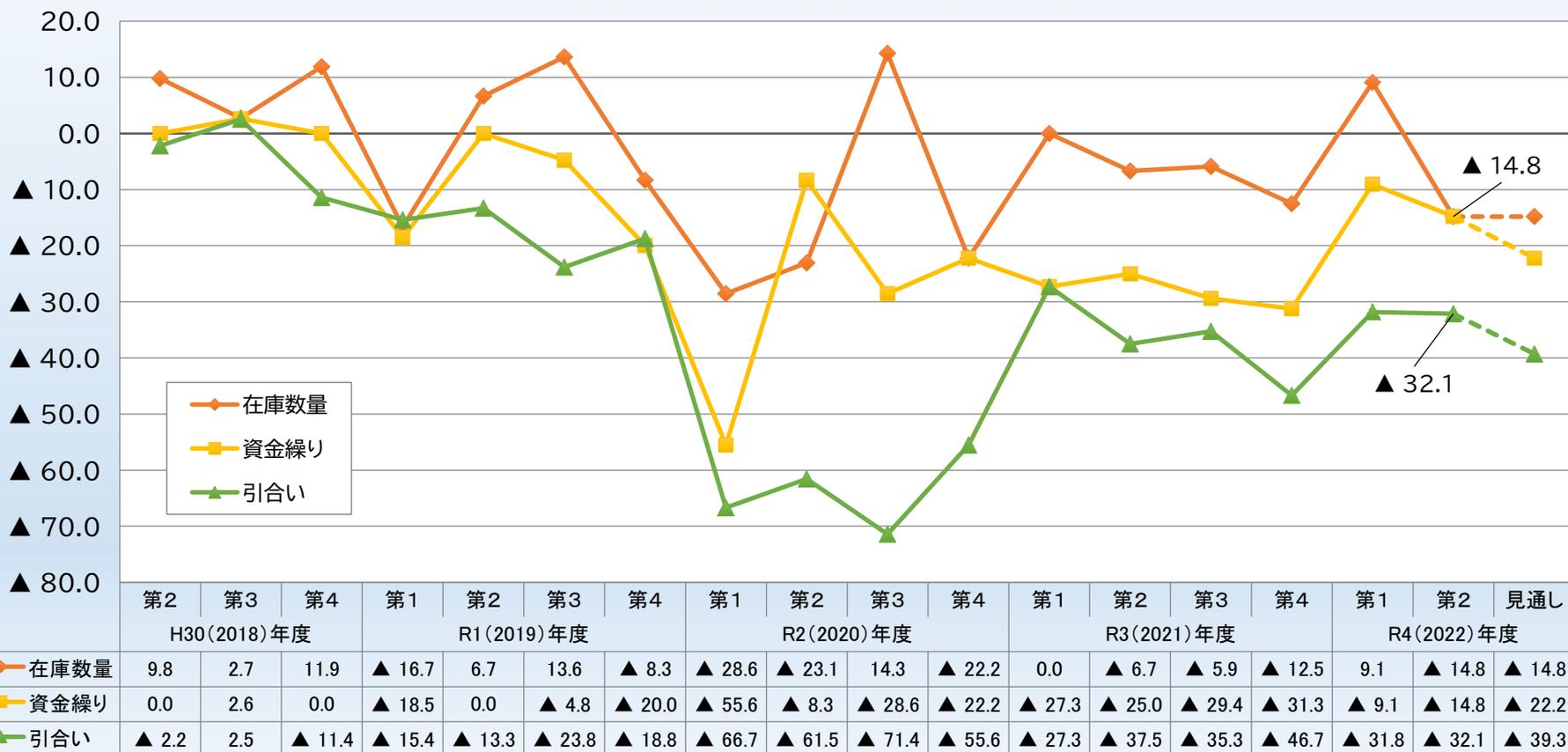
【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【業況】	今期:▲14.3とマイナス幅が拡大した。	来期:▲32.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期:0.0とプラス幅が縮小した。	来期:▲21.4とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期:▲7.1とマイナス幅が縮小した。	来期:▲7.1と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

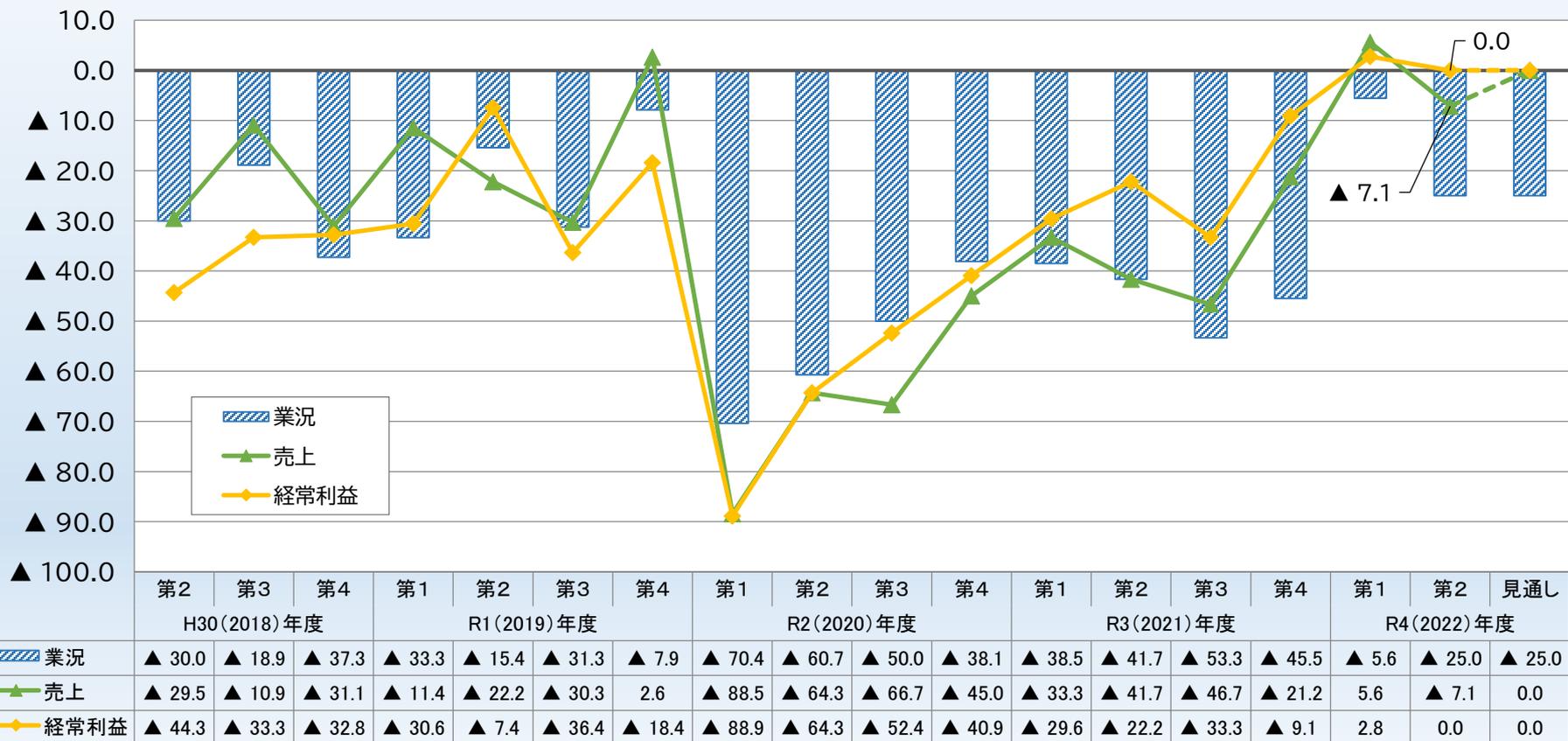
【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期:▲14.8とマイナスに転じた。	来期:▲14.8と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期:▲14.8とマイナス幅が拡大した。	来期:▲22.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期:▲32.1とマイナス幅が拡大した。	来期:▲39.3とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

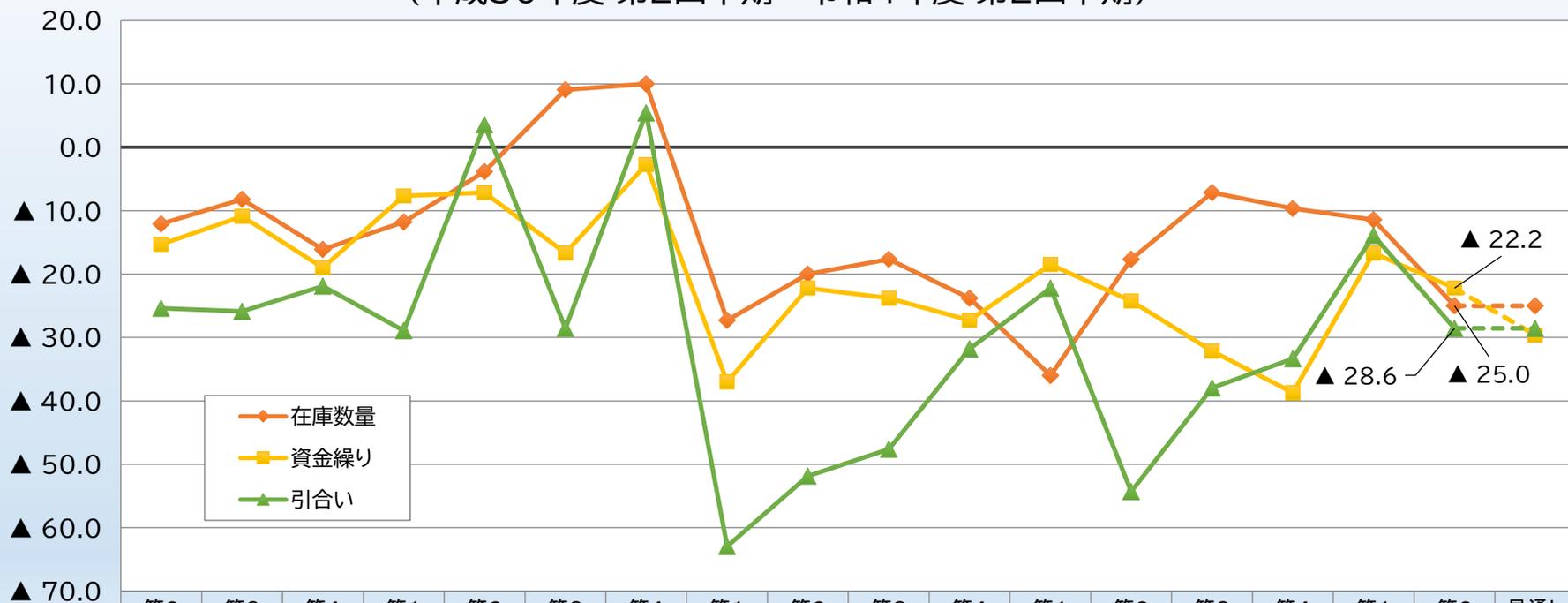
【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【業況】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【売上】	今期: ▲7.1とマイナスに転じた。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: 0.0とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

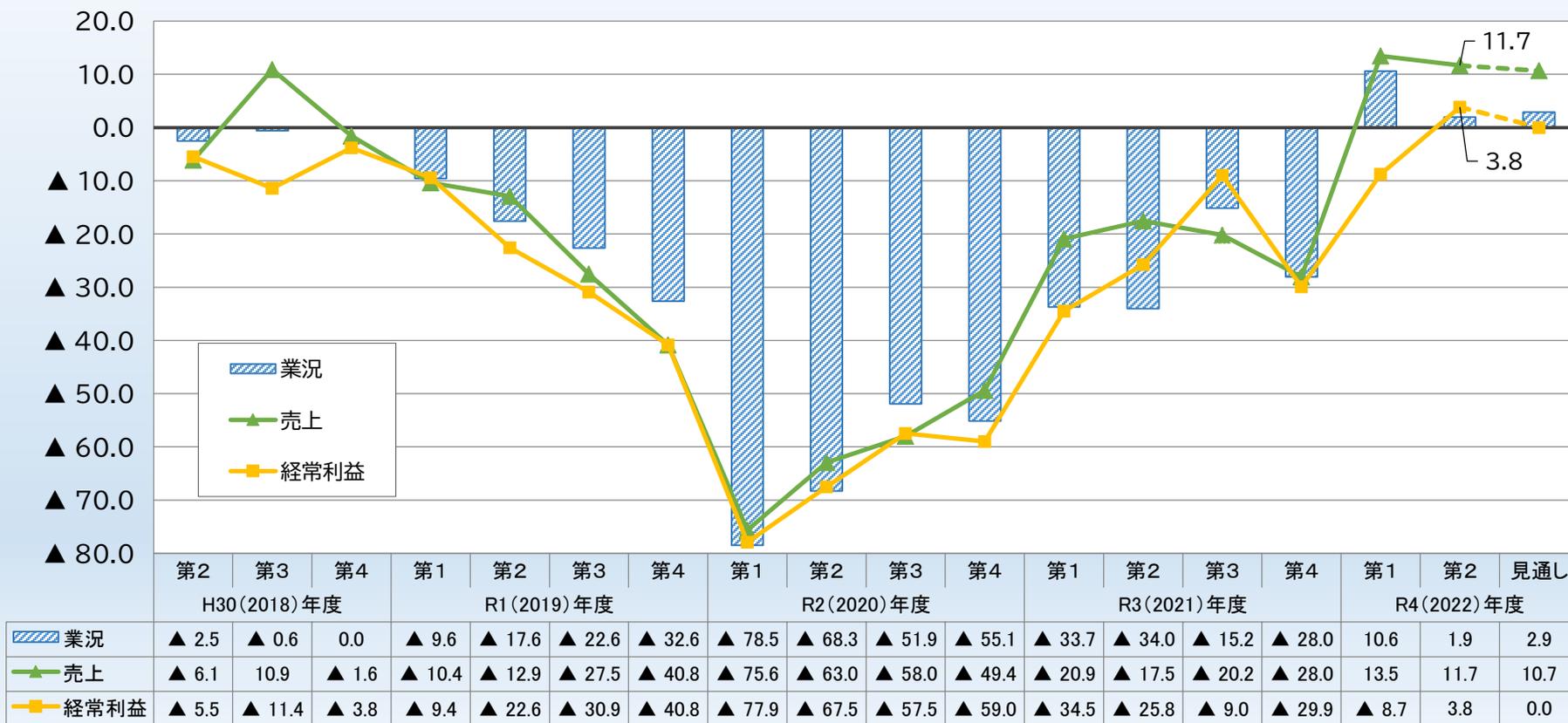


	H30(2018)年度			R1(2019)年度			R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	▲ 12.1	▲ 8.2	▲ 16.1	▲ 11.8	▲ 3.8	9.1	10.0	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 17.6	▲ 23.8	▲ 36.0	▲ 17.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.4	▲ 25.0	▲ 25.0
資金繰り	▲ 15.3	▲ 10.9	▲ 19.0	▲ 7.7	▲ 7.1	▲ 16.7	▲ 2.7	▲ 37.0	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 27.3	▲ 18.5	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 38.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 29.6
引合い	▲ 25.4	▲ 25.9	▲ 21.9	▲ 28.9	3.6	▲ 28.6	5.4	▲ 63.0	▲ 51.9	▲ 47.6	▲ 31.8	▲ 22.2	▲ 54.3	▲ 37.9	▲ 33.3	▲ 13.9	▲ 28.6	▲ 28.6

【在庫数量】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲22.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲29.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲28.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲28.6と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

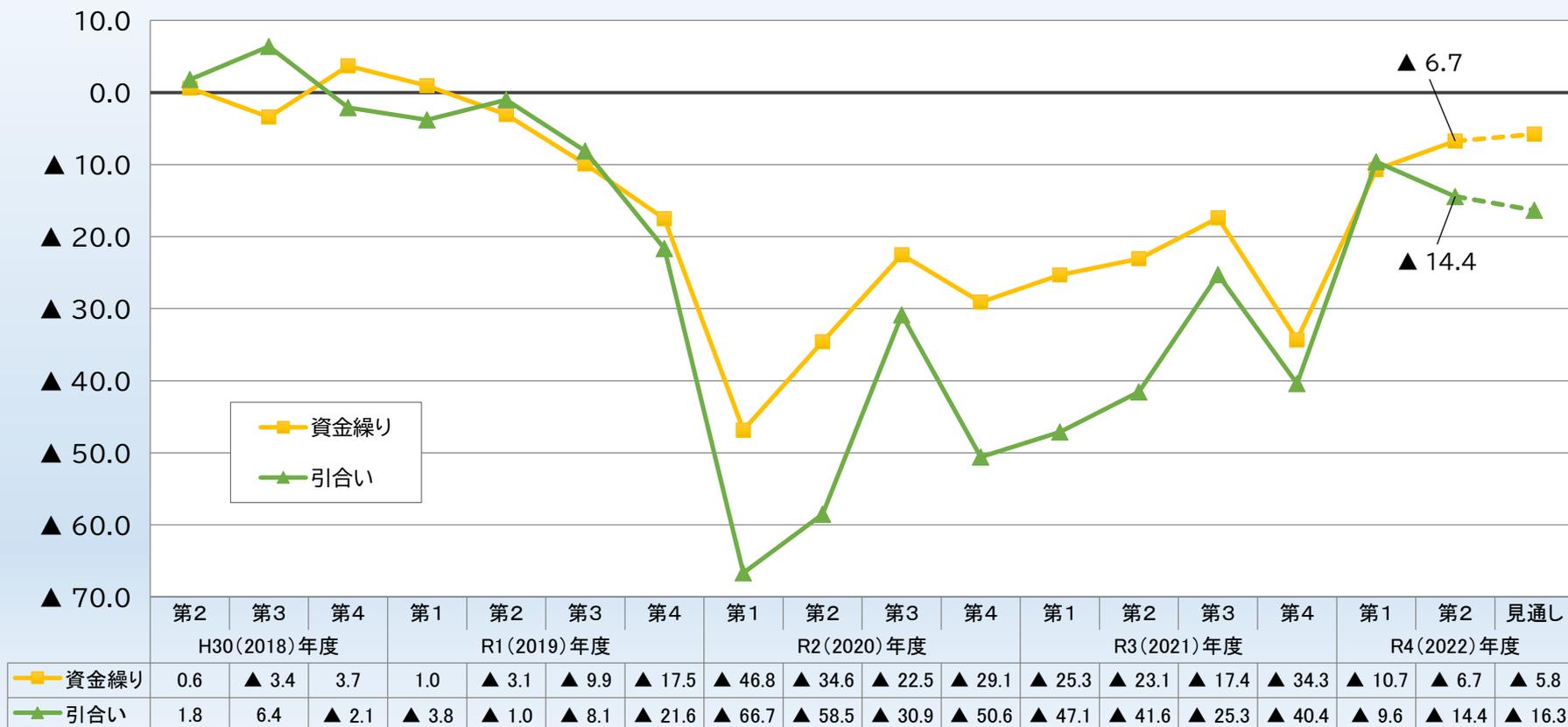
【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【業況】	今期: +1.9とプラス幅が縮小した。	来期: +2.9とプラス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +11.7とプラス幅が縮小した。	来期: +10.7とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +3.8とプラスに転じた。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【資金繰り】	今期: ▲6.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲5.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲14.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲16.3とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書(令和4年度第2四半期)



1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	原材料価格の高騰により利益率は低下の見込み。	製造業
	受注はコロナ発生前の水準に戻りつつある。	製造業
	コロナ等の影響により、前年、大手からの受注が落ち込んだが本年は回復基調。	卸売業
	今後のコロナの影響がどうなるか不確定要素が大きい。	サービス業
不変	仕入の値上がりが激しく、売上もまだコロナの影響を受けている。	小売業
	原材料の高騰、人員確保が課題。	建設業
	原材料高騰の影響が利益を圧迫している。	製造業
	材料費・輸送費の高騰に、電子部品が手に入りづらいことにより、注文いただいても納期の見通しが立てづらい状況。	製造業
	売上や採算はあまり変化無いと見ているが、繁忙期に向けたアルバイトの採用についてかなり不安。本年も採用に苦労した。	サービス業
悪化	最低賃金上昇分が契約単価に反映されないので、経営は厳しい。	サービス業
	中国のロックダウンの影響、半導体不足の影響があり、しばらくは良くない状況が続くとみられる。	製造業
	原材料高騰の影響により悪化する見通し。	サービス業
	コロナ陽性者の数が爆発的に増加した影響で、また売上が減少している	卸売業
	原材料や副資材、消耗品、電気代などの価格高騰分の売価への価格転嫁が追い付いていない。客先での在庫滞留などにより、売上見通しも悪い。	製造業

1. 調査概要

2. 全体

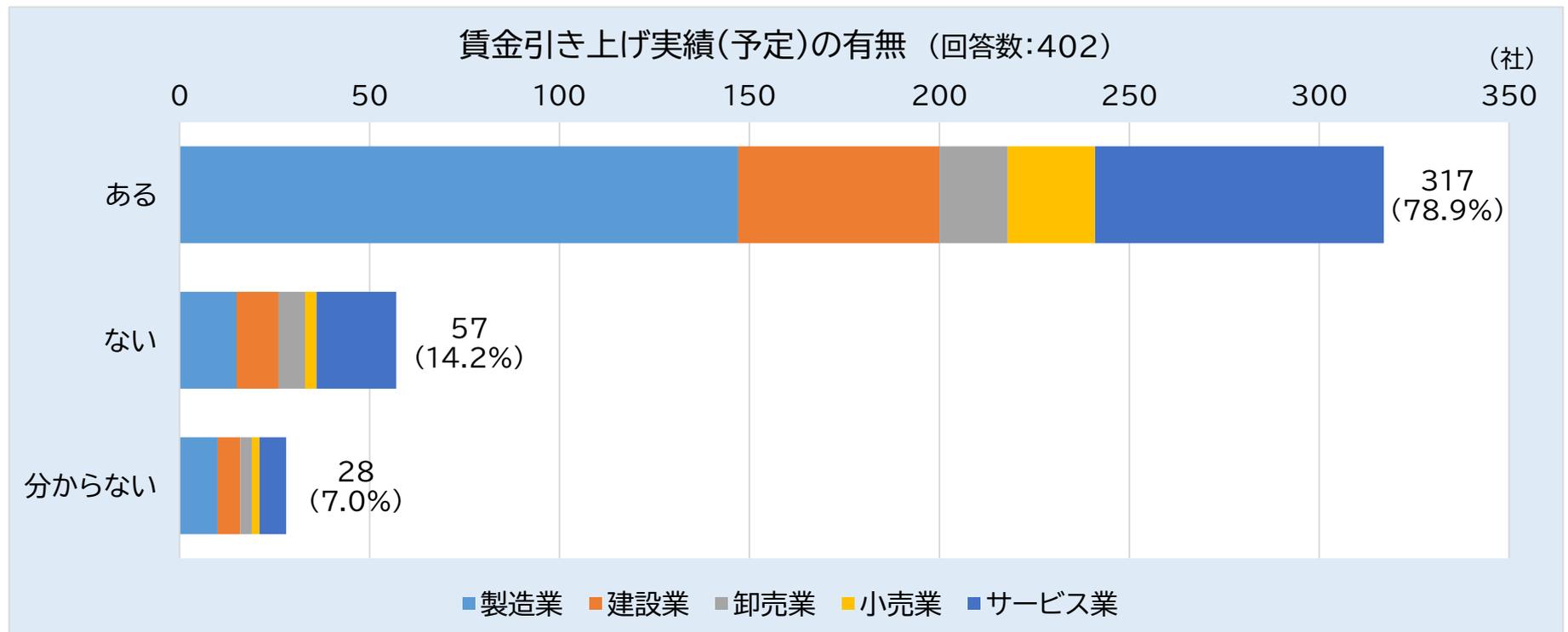
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げ実績(予定)の有無

- 今年度(令和4年4月～令和5年3月の間)、賃金引き上げの実績・予定があるか尋ねたところ、「ある」がおよそ8割であった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計は100%とならない

1. 調査概要

2. 全体

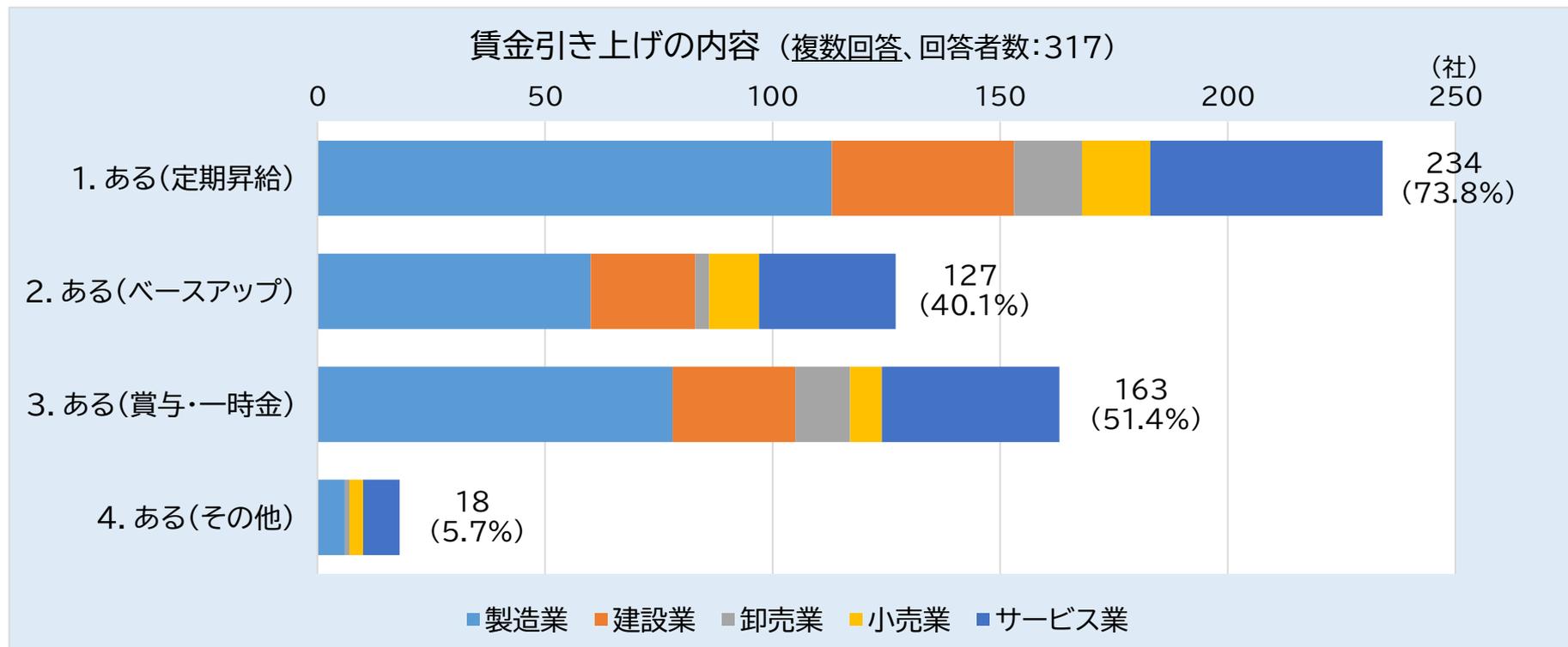
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げの内容

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がある事業所を対象に、引き上げの内容を複数回答で尋ねたところ、「定期昇給」が最も多く、次いで「賞与・一時金」、「ベースアップ」の順に多かった。
- 「その他」の内容： 最低賃金改定に伴う引き上げ 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

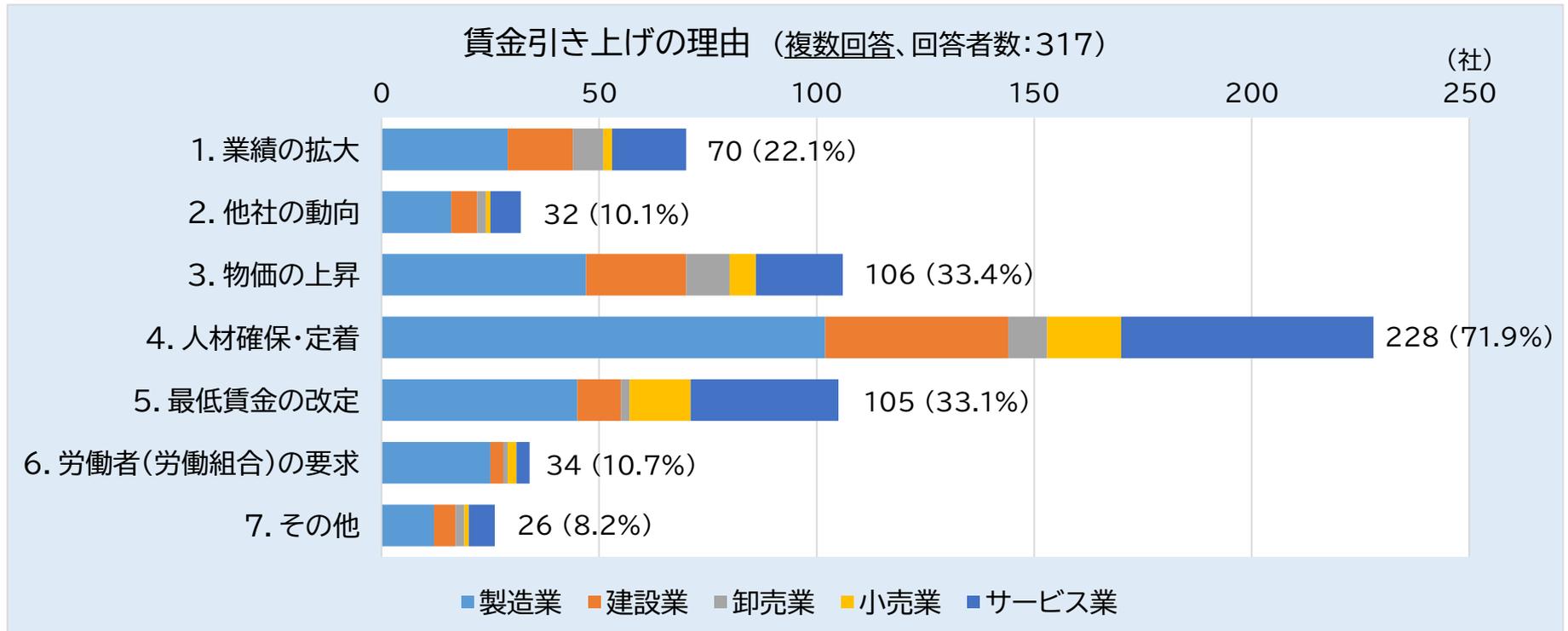
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げの理由

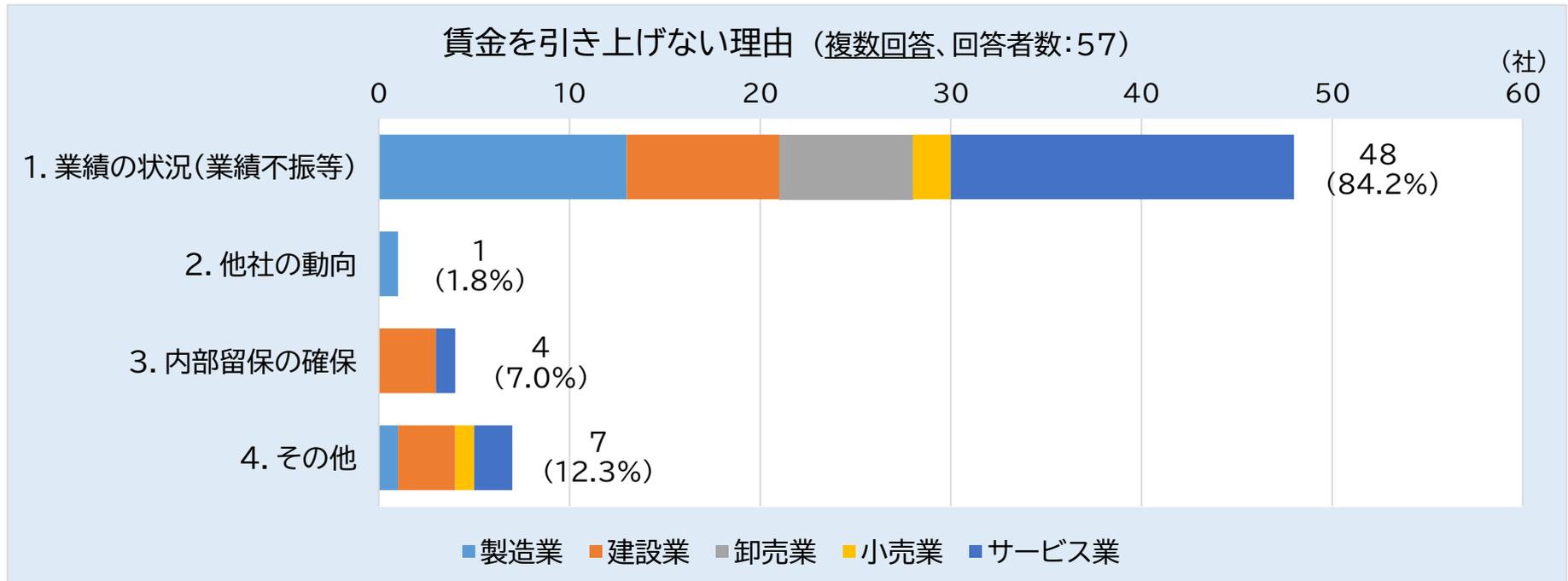
- 賃金引き上げの理由を複数回答で尋ねたところ、「人材確保・定着」が最も多く、「物価の上昇」、「最低賃金の改定」が続いた。
- 「その他」の内容： 社内基準に基づく決定、人事制度による 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

賃金を引き上げない理由

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がない事業所を対象に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「業績の状況」が最も多かった。
- 「その他」の内容： 引き上げの理由がない、令和4年1月に大幅に引き上げたため 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)